

海、もしくは夜っぽい日々

小出美桜

青じゃありません海、ミンミンゼミいません。

心臓はひとつがいいけど、指はゲソくらいほしいの。

そうやって宝箱の底を手探り。

あああけれど浮かべません、わたしカナヅチ。

海底。

溺れても泣きません。

反射光は誰も刺さない。蕾のように包むから。

なんて、こんなの理科の教科書には載っていませんでしたが

霧みたいな魚っていないと思ってて

わたし、波っぽい人間になりたいです。

激辛ラーメンは食べられなくても塩辛さには自信があるから。

何景目かの冨嶽みたいに

うみ丸飲み。

擬態型わかめが地味に暴れるだろう予想に

旧十円玉を賭けましょう、淡めの夜。

快晴。

明日は乾燥機を、日がな一日かける日。